



DIPLOMA 2018

卒業作品集



全国専門学校建築教育連絡協議会

since 1995
全 専 建 協
Zenssenkenkyo

CONTENTS

ご挨拶、役員一覧	...01	ポスターコンテスト審査会・総会	...20
卒業作品展示会 2018 概要	...02	会員校一覧	...21
卒業作品展示会 2018 作品紹介(17校)	...03	協賛	...22

ご挨拶

全国専門学校建築教育連絡協議会は、1995年に発足以来、早や20数年が経ちました。本協議会は、現在会員校27校にて専門学校の建築教育の質の向上、教育内容の充実、併せて会員校の連帯と交流を図り、活動しております。

全国の会員校は、各校特色のある建築教育、人材育成を長きに渡り取り組んでおります。多くの学校では社会で働くことに必要なビジネス能力、専門知識や技術教育などに注力し、実践的なカリキュラムと実務経験豊富な教員・講師が担当する講義・実習および卒業制作に取り組んでおります。さらには「職業実践専門課程」などの産学連携授業やプロジェクトを通して、産業界とより密な関係を構築し、建築教育をはじめとする職業教育に引き続き、産業界とともに次世代を担う人材育成に精進して参ります。

この度、本協議会では初めて卒業作品集、活動記録を冊子にまとめました。個性溢れる専門学校生の卒業制作と本協議会の取り組みをご欄頂けましたら幸いです。

最後になりましたが、本協議会へ多くの協賛企業・団体各社より格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

全国専門学校建築教育連絡協議会
会長 山野 大星

役員一覧

役職名		氏名	学校名
会長		山野 大星	日本工学院八王子専門学校
副会長		松田 正之	中央工学校
		堤下 隆司	修成建設専門学校
幹事	常任幹事	平上 秀明	中央工学校OSAKA
		尾林 徹	読売理工医療福祉専門学校
		宗林 功	大阪工業技術専門学校
		仁多見 透	新潟工科専門学校
		高瀬 恵悟	専門学校東京テクニカルカレッジ
		湯浅 康生	岡山理科大学専門学校
	幹事	大野 克典	筑波研究学園専門学校
		鈴木 茂樹	東海工業専門学校金山校
		原 真佐也	浅野工学専門学校
		吉田 裕彦	大阪工業技術専門学校
		新井 長秀	青山製図専門学校
		今泉 清太	麻生建築&デザイン専門学校
		事務局(会長校)	清水 憲一
監事		豊田 正敏	読売理工医療福祉専門学校
		三上 孝明	専門学校東京テクニカルカレッジ
相談役		堀口 一秀	中央工学校

DIPLOMA 2018 第18回 専門学校卒業作品展示会 概要

会期

2018年6月18日(月) ~ 2018年6月30日(土)

会場

建築会館 1階ギャラリー (東京都港区芝5-26-20)

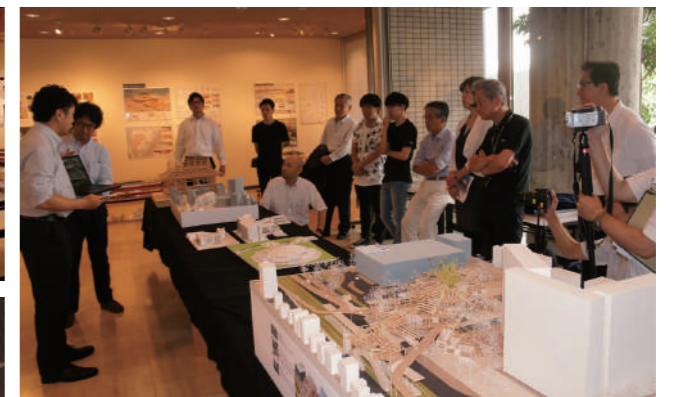
参加校一覧

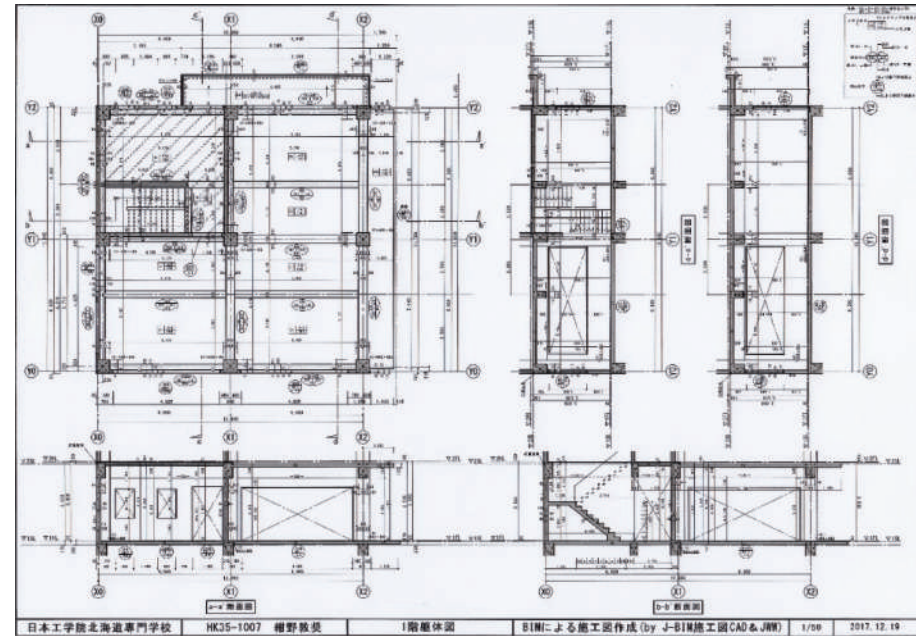
- [北海道] 日本工学院北海道専門学校
- [茨城] 筑波研究学園専門学校
- [東京] 青山製図専門学校
- 中央工学校
- 日本工学院専門学校
- 日本工学院八王子専門学校
- 専門学校東京テクニカルカレッジ
- 読売理工医療福祉専門学校
- [神奈川] 浅野工学専門学校
- [新潟] 新潟工科専門学校
- [愛知] 東海工業専門学校金山校
- [大阪] 大阪工業技術専門学校
- 修成建設専門学校
- 中央工学校OSAKA
- [岡山] 岡山理科大学専門学校
- [福岡] 麻生建築&デザイン専門学校

展示会ポスター(コンテスト最優秀)



ポスターデザイン
藤原 唯 さん
(中央工学校)

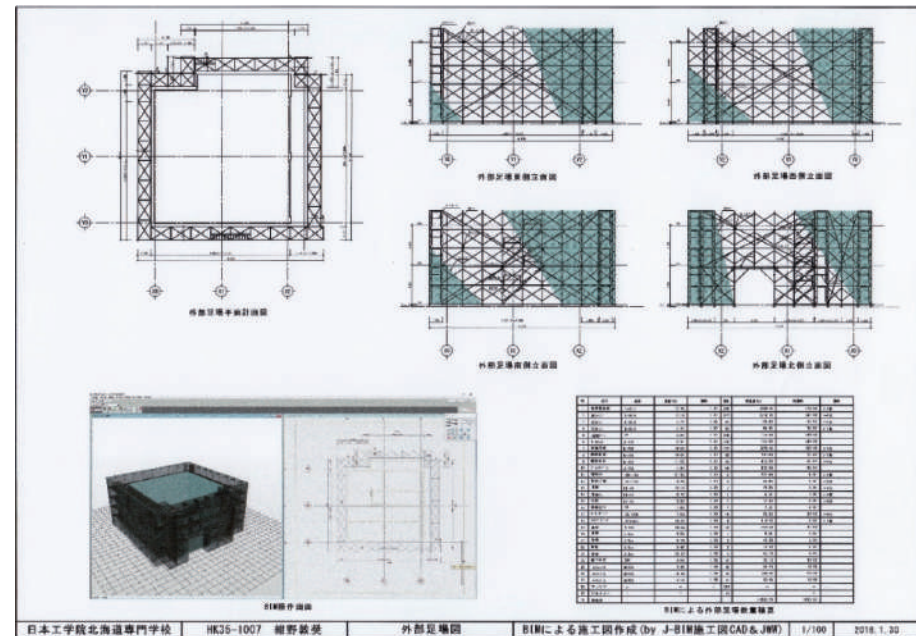




私たちは、J-BIM施工図CADを使用して躯体図を作成しました。その図をJWWで整理したものが、この図面です。

BIMを用いることで、CADのみで作図する場合と比較して、大幅な負担軽減になりました。

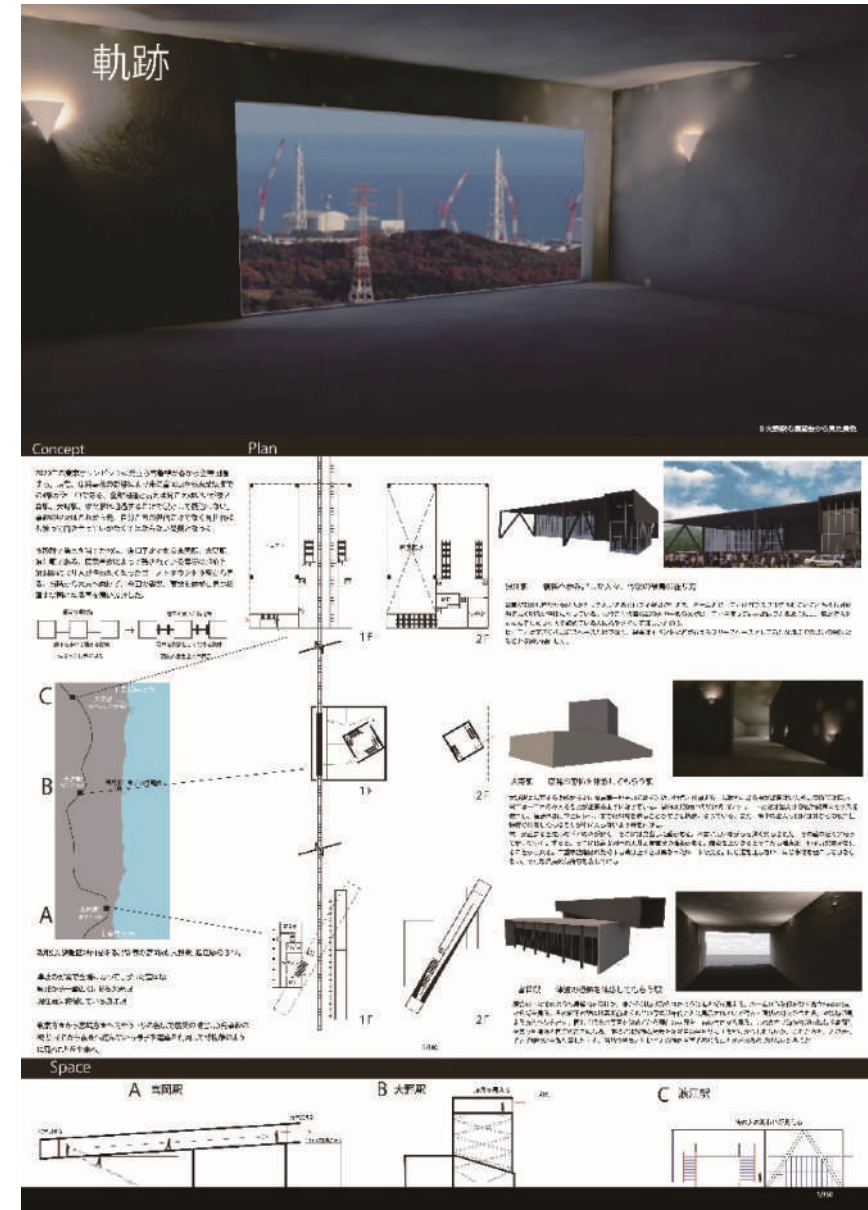
この図面には掲載していませんが、数量積算も自動的に実施されています。



仮設計画図の外部足場が自動作成され、BIMに自分の考え方を入力して、調整すると、想像以上のスピードで図面が作成されました。

その図をJWWで整理したものが、この図面です。

さらに仮設材の数量積算がBIMで行われ、JWWの図面に貼付して、図面を構成しました。



2020年、常磐線の全線開通に伴い震災の津波と原発の被害を知る施設兼駅の提案である。暗い状況の中でも故郷へ帰るといふ一筋の希望を胸に未来へと向かって歩き出した様子、現状そして過去の福島を体感、実感することによって未来の明るい福島の在り方を様々な人に考えさせる。そしてその駅1つ1つを時系列の博物館で表現し、高さ、光、情景を切り取ることによってより伝わりやすくなるのではないかと考えた。計画地である、旧富岡駅、大野駅、浪江駅の三ヶ所で

いずれも津波の被害、放射能の被害を受けている。そこで私たちは旧富岡駅では津波の被害といまだ手付かずの街を見る駅、大野駅からは現在の原発が見える展望台と人々のその時の心情を知る駅、浪江駅では震災を踏まえてこれら3つの駅で体感した事を考える駅とし、今後の福島がどうあるべきかを計画することで震災を風化させず、これ得た教訓を後世に伝え、全世界の人にも知ってもらおう場となることを期待したい。

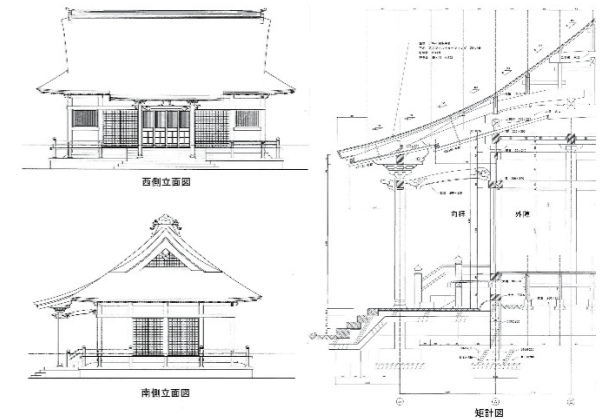
筑波研究学園専門学校 建築環境学科 建築設計デザインコース
花島 大翔、木村 隆宏、入江 夏菜子、江端 美優



笠間市では、ものづくり活動支援を行っており、芸術施設の他、200軒以上の芸術家がいる。それらが南東側に集中し、中央の商店街へと観光客が流れていかず、空き地、空き家が多い。そこで、回遊性を持たせるように配置した4棟の「遊」・「合」・「創」・「望」と、それらを結ぶ「灯(とう)の交(みち)」を計画した。街歩きをすることで、裏路地や小道へ導くことができ、既存の

芸術も再発見させ、かつての賑いを取り戻す。この計画は「始まり」とし、市内全体の芸術が魅力となり、訪れた人々が、様々な芸術に溢れている笠間市本来の姿を知り、さらに興味を持つ人が増えることで、空き地や空き家が芸術家の活動拠点として成長し、様々な芸術による「灯」で、真の「芸術の街」として明るく発展していくことを願う。

中央工学校 木造建築科
太田 嘉希



現代は人と人のコミュニケーションが希薄になってきており、それは都市部だけではなく地方でも同様なことが言える。高田城跡地に造られた高田公園は、春に4,000本の桜が咲き誇り「日本三大夜桜」の一つとされている。夏はお堀いっぱい蓮が咲き

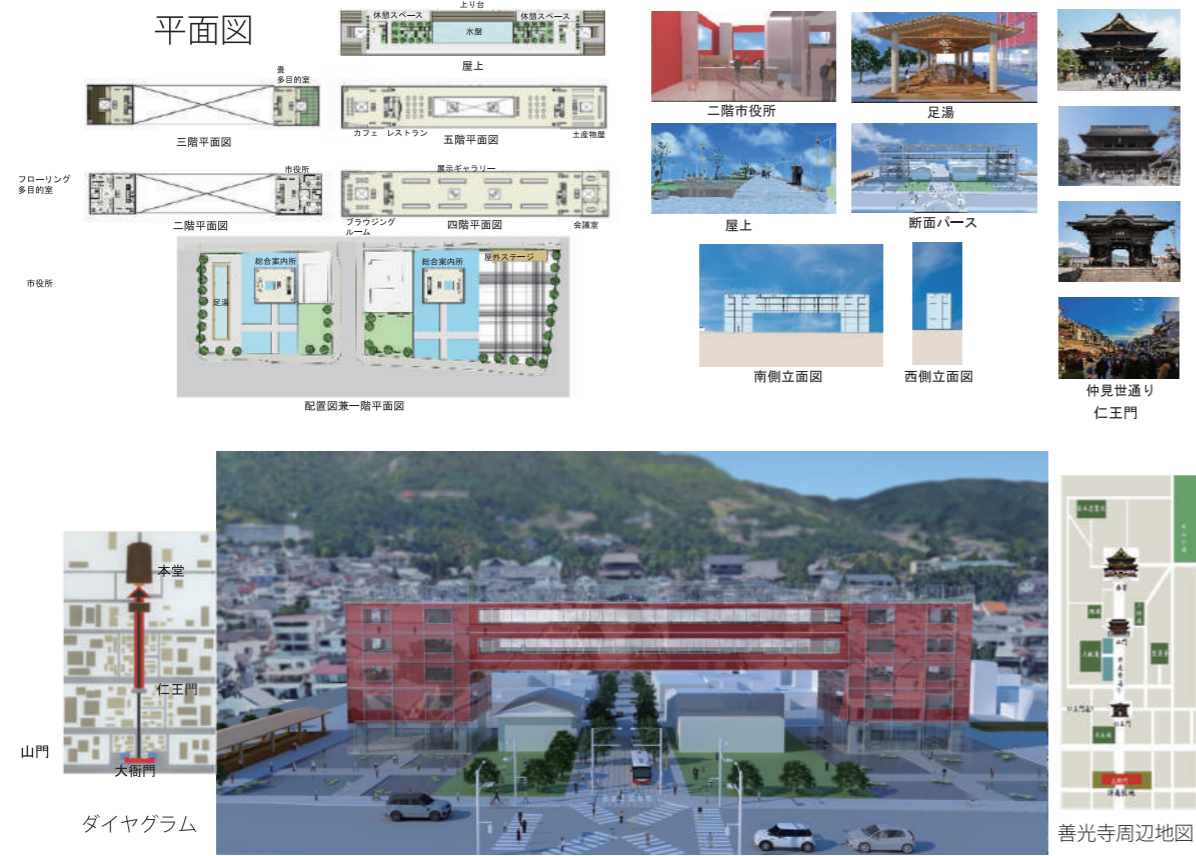
「東洋一の蓮」と言われている。また、2015年に北陸新幹線開業により東京都心からも近くなった。この地に社寺を建てることで一層観光客が増え、多くの人々が集う憩いの場となれば、人とのコミュニケーションが取り、地域の発展に繋がると考え、この社寺を設計した。

中央工学校 建築室内設計科
武石 愛海



「いま」リアリティを感じるのには、「この世界に時間が残らずに消えてしまう」という法則があるからではないかと私は感じる。「写真」は、流れゆく時間の断片を残し、それが様々な事を想起させることで、私達はある種の神妙さとリアリティを感じる。

この美術館では、国営ひたち海浜公園へ訪れた人々の写真を展示し、建物全体がまるで一冊のアルバムのようになる。たくさんの人の思い出が集まり、記憶により深く刻まれる魅力的な「場」を提供することで、この美術館が「郷愁の場所」として人々の拠りどころとなることを目指した。

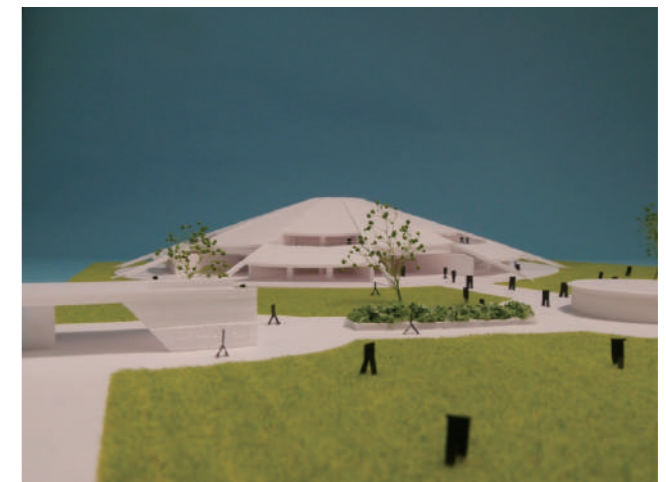
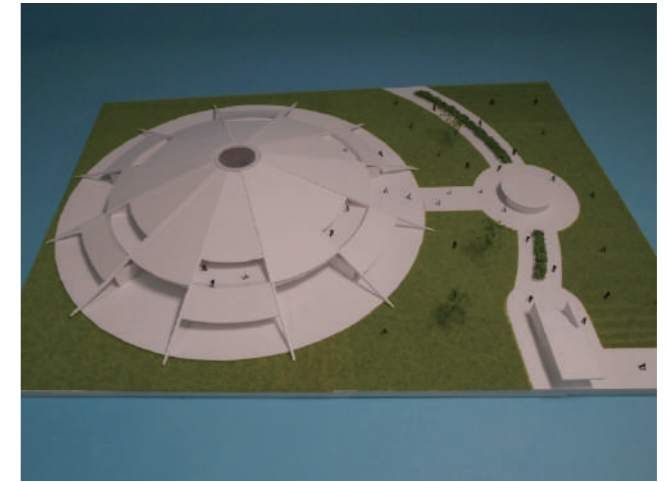
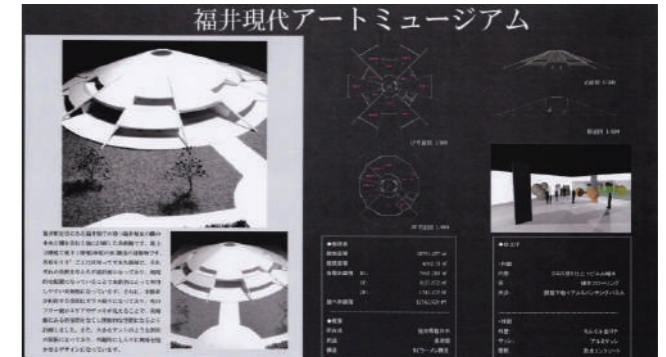


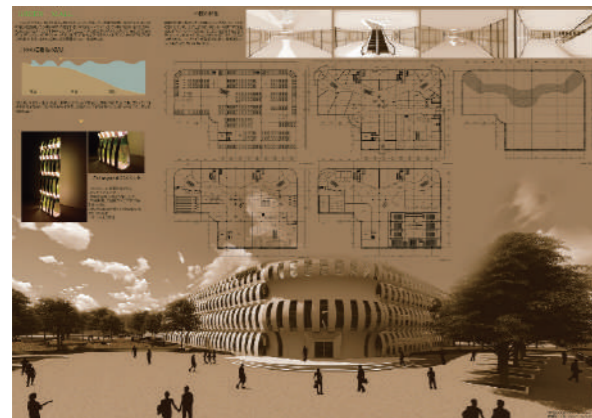
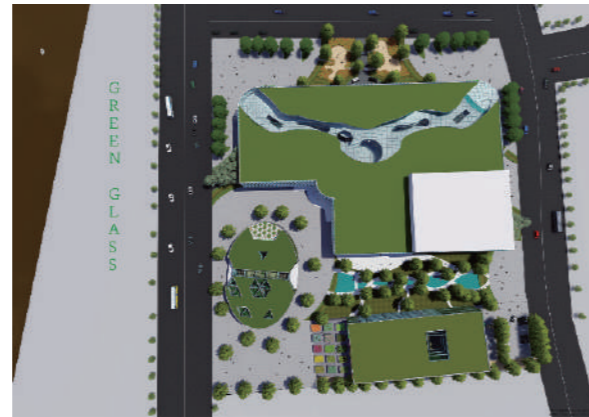
善光寺とは、長野県の長野市にある寺で、間口は約2.4m・奥行き約5.4m・高さ約2.6mという東大寺に次ぐ世界最大の木造建築である。「一生に一度は、善光寺参り」と言われ江戸時代から人気の観光スポットであった。それは、現在も続いている年間約600万人もの人たちが訪れている。周辺には、観光客を対象とした土産物屋や宿坊があり、又季節ごとに行事が行われ、一年中観光客であふれている。そのためか、意外にも地元の住人は善光寺に参拝することが少ない、

という現実がある。もっと地元の人々も善光寺と親しめるようになりその上で観光客とも触れ合え、自然なおもてなしが出来るが必要だと考えた。そこで私は、善光寺の参道の入り口に、市役所の機能や公民館的な多目的室、カフェ、レストラン、観光客のための案内所や善光寺の歴史を学べるギャラリーを計画した。又、外部空間として市民広場と足湯を設け、市民と観光客とが、ふれあえる新たな門(ゲート)を計画した。

敷地面積: 18791.457㎡
 建築面積: 4692.73㎡
 各階床面積
 B1: 7693.785㎡
 1F: 3127.872㎡
 2F: 1741.272㎡
 延べ床面積: 12562.929㎡
 所在地: 福井県福井市
 用途: 美術館
 構造: RCラーメン構造

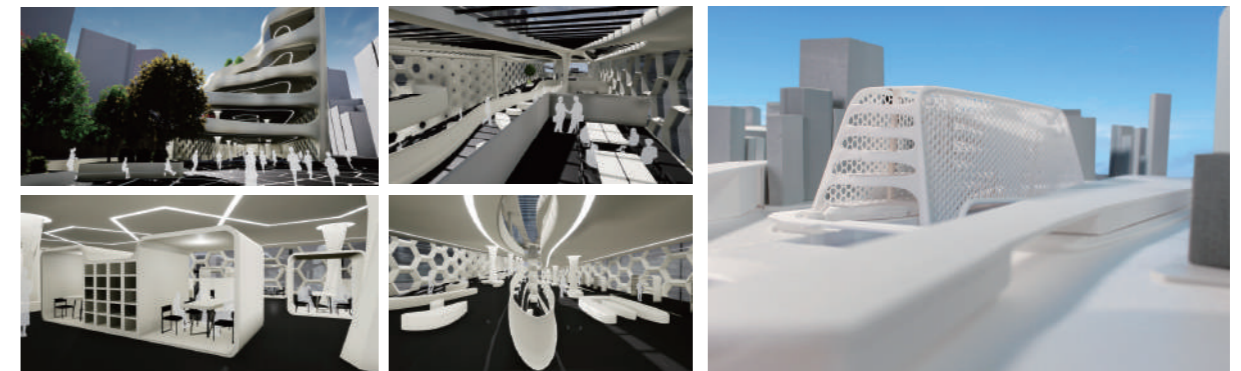
福井駅近辺にある福井県庁の建つ福井城址の隣の中央公園を含む土地に計画した美術館です。地上2階建て地下1階(駐車場)のRC構造の建築物です。円形を30°ごとに区切ってできた領域に、それぞれの役割を与えた平面計画になっており、規則的な配置になっていることで来館者にとって利用しやすい美術館になっています。さらに、来館者が利用する空間はガラス張りになっており、外のフリー展示エリアやデッキが見えることで、美術館にある密室感をなくし開放的な空間になるよう計画しました。また、大きなテントのような形状の屋根になっており、外観的にも人々に興味を抱かせるデザインになっています。





カンボジアの首都プノンペンを建築を用いて人々の生活をより便利にすることを目指した。このプロジェクトは、ショッピングモールを中心に、温室と垂直農場ビルの3つのエリアを含め「GREEN GLASS」と命名した建築である。これは、緑の建築プロジェクトでもあり、成長し続ける都市のプノンペンにも発生している様々な環境問題の対策にもなり都市の美しさの増加にも寄与する。世界の大都市と酷似したロケーションからも今後も人口密度の増加、都市部の開発が見込まれ、より一層対策の必要性でありその解決策として一石を投じる。

ショッピングモールは地域住民との物産交換の場としても機能し、温室及び垂直農場の建物では一部の製品を提供する。これら三つの異なる機能の建物はお互いに補完しあう。にぎやかな雰囲気のあるところに訪れたい人々はショッピングを楽しみ、静かなところに訪れたい人々は温室や垂直農場ビルにてカフェや図書室などでリラックスしたり交流したりできる、また、川の対岸に広がる宮殿や市内の主要な多くの建物などが望める立地にあり、美しいパノラマ景色を楽しむこともできる。



3Dプリンターによる模型。使用ソフト:ライノセラス+ガラスホッパー

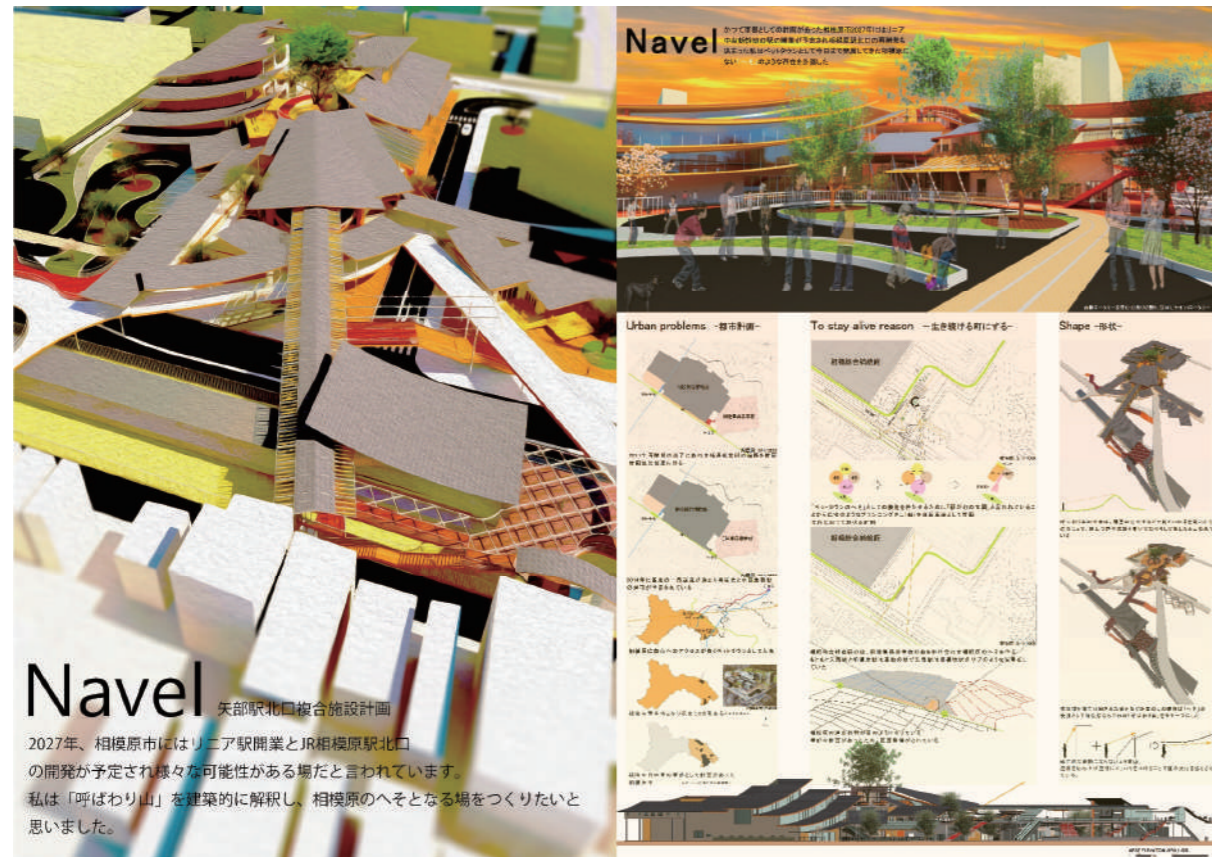
2010年代に入り日本のイノベーション(技術革新能力)は、世界の上位から退いた。先進国の中でも低水準にまで落ち込んでしまったその背景には、新しいイマジネーションを具現化するベンチャービジネスへの挑戦の減少、そしてその一方で、技術的な知識に苦手意識を持つ若者の増加がある。それらの障壁を取り除いていくことが日本を再生する原動力となるのではないだろうか。

この建築は、起業を試みる人や団体に「知る・学ぶ・考える・チャレンジする・成果を見せる」というサイクルの

場を提供する施設である。ハニカム構造のファサードの開口率は、Grasshopper上で調節し、照度に応じた適性用途の内部空間配列と連動させている。またベンチャー同士の直感的な交流を促すために、内部は大きなスロープで連続的に繋がっている。

敷地は、観光地としての側面を持つ秋葉原である。ここには、かつて江戸に築かれた神田川の水運が現存している。その水運を再評価し、現在の都市における交通の利便性向上に寄与すると共に、「水運のある秋葉原」を「ベンチャーの拠点」+「観光の拠点」として提案する。

日本工学院八王子専門学校 建築学科
岩崎 有希也



相模原市は2027年にリニア駅開業とJR相模原駅北口の開発が予定されることから、様々な可能性がある場だと言われています。私は相模原市周辺で古くからある「呼ばわり山」を建築的に解釈し、相模原のへそとなる場を作り、相模原市を「生き続ける町」にする計画としました。本計画は、かつて軍都として計画があった相模原市に、これまでとは異なるベッタウンとしての再生を可能とします。町に対して人の入り口となる「駅」を、ベッタウンである「住処」の家の玄関と位置付けました。「呼ばわり山」

は、開墾の芝や土などで約7mの堀を築いたもので、太鼓や鐘などを叩いてお祈りをた場所のことで、駅に人が集まり、駅から旅立つ場所として複合施設を作り出しました。複合施設の中央にはシンボルツリーを配し、建物としては様々な顔を持ち、町の多様な賑わいにもマッチする表情をファサードに持たせ、この場所から「生き続ける町」が始まります。それは、都市の歴史と新時代の開発が絡み合う、新しい建築の提案です。

新潟工科専門学校 建築士学科
羽鳥 諒、加藤 拓斗、田中 浩史、江部 里咲



2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を記念した、大会中の競技者や市民が活用できる施設を新潟市中心にある鳥屋野潟スポーツ公園に計画するテーマに対し、オリンピック選手たちに五感で日本や新潟の文化を知ってもらえる施設を提案しました。野鳥や植物など自然豊かな鳥屋野潟を3つのゾーンに「たまご型」施設を配置し、それぞれを体験しながら鳥屋野潟について知ってもらいます。一つ目のゾーンでは視覚「展望台」で鳥屋野潟全体を

楽しんでもらいます。二つ目のゾーンでは味覚・嗅覚「レストラン」で新潟と交流の深いフランス・モンゴルの料理を楽しんでもらいます。三つめのゾーンでは聴覚「音楽ホール」で音楽を楽しみ観光客やオリンピック選手との交流を楽しんでもらいます。触覚はゾーンとゾーンの移動中において花や植物と触れ合うことを考えています。以上のように五感をそれぞれのゾーンで繋げ鳥屋野潟の自然と訪れた人々が触れ合い、美しい新潟を楽しんでいただきたいと思います。



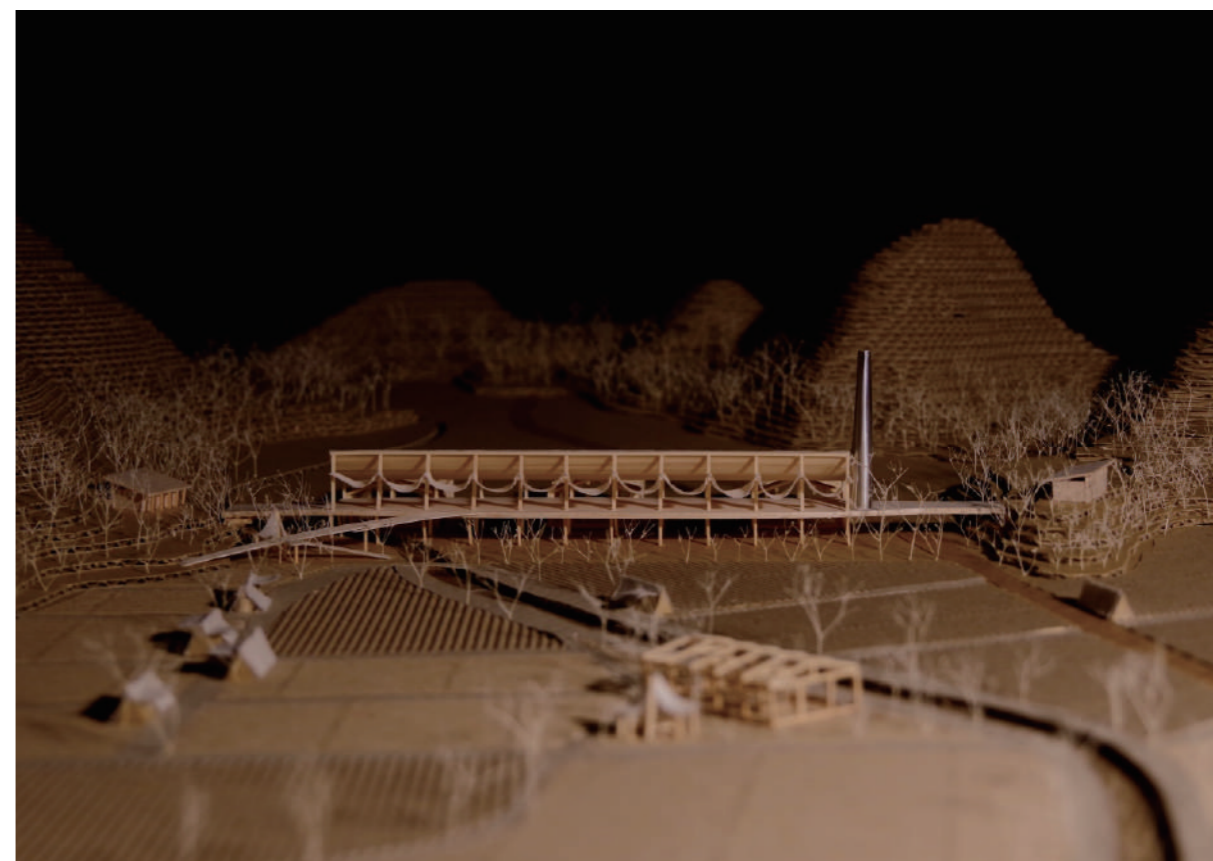
この計画は、都市部における保育環境を地域住民との交流を促す事で、コミュニケーション能力を養い、子供達の想像力を育む事を目指した計画である。

昨今、様々な工夫をこらし、保育環境を整備する事例を多く見かけるようになった。

しかし、都市部では敷地を確保する難しさから、園庭がない保育園も増え、保育士の労働条件の厳しさなどにより、

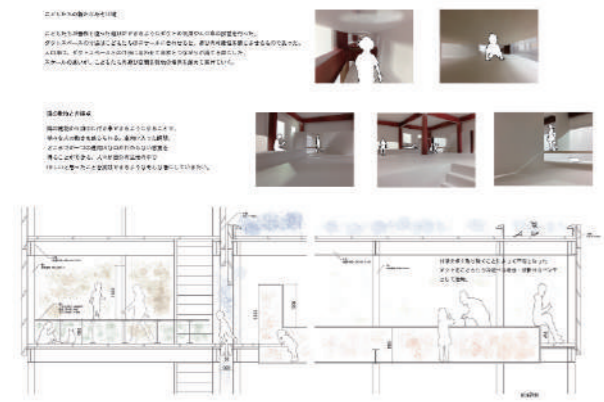
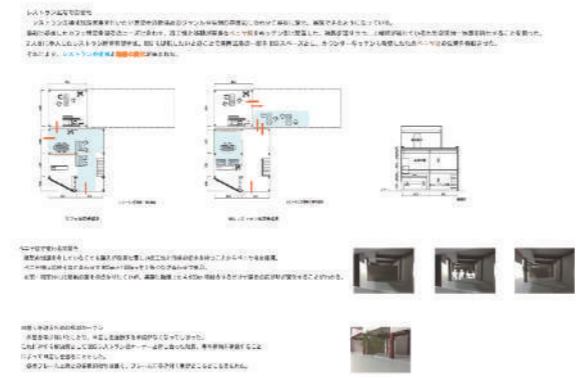
少人数の職員による保育状況の問題も取り沙汰されている。保育園だけで保育するのではなく、街全体が子供達にとっては、学びの場であり、街の人達と交流する事が健全な育成環境であり、新しい保育の姿だと考える。

新保育指針・保育要領・教育要領にのっとり、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を基に新しい保育環境の在り方を提案する。



兵庫県南あわじ市福良地区に農業公園を計画した。本計画は建築と農業を介して人と自然の正しい共生関係を築くことである。福良は湾岸の特殊な地形より古来から津波の被害を幾度も受けており、南海トラフ地震においても甚大な被害が想定されている地域である。この地域では東日本大震災以前から防災活動に積極的に取り組み、住民の危機意識を高めてきた。しかし、自然災害に対して恐れ意識ばかりを

高めることが正しい防災ではないと考える。山と海と共に繁栄してきた福良の人々が、自然を恐れ関係を閉ざしてしまえば美しい港の文化は失われてしまう。東日本大震災の教訓をもとに、自然を封じ込めるのではなく、人々が自然の恩恵や摂理を学び、自然との共生のあり方を見つける空間を提案する。人々が自然についてより多くを学ぶことがこのまちの未来を変えていけると考えた。



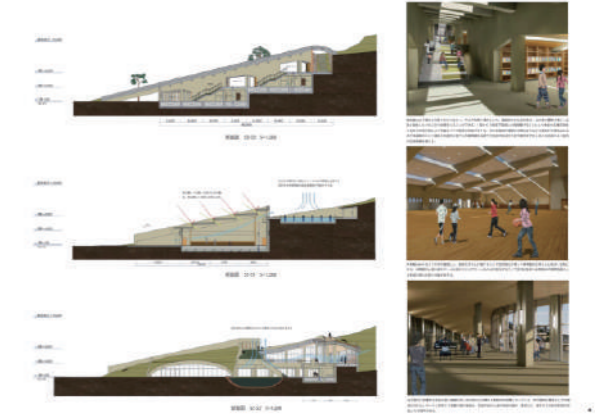
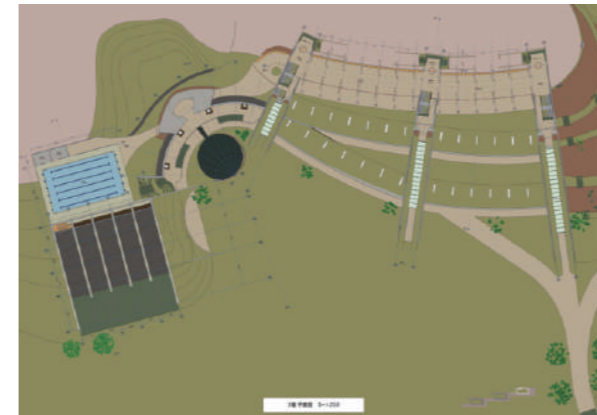
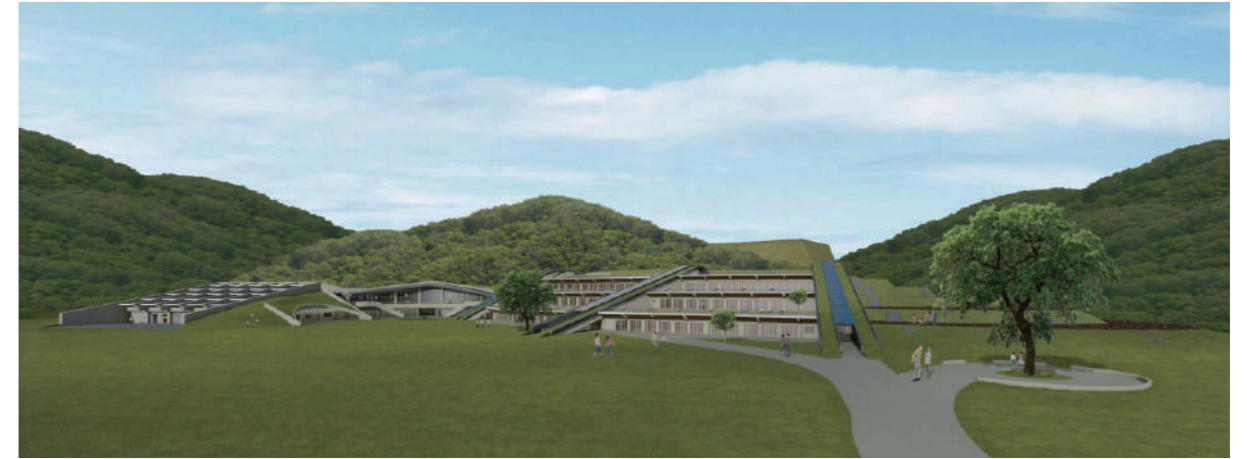
「多数の生活と時間を紡ぐ空間」一人の生活は時間的であり断片でもある、それらを紡ぐことは人々の生活を豊かにする。

ある敷地を管理していた御祖父から敷地の管理を引き継いだオーナーからオフィスビルのリノベーションを依頼頂いた。提案の目的は以下の通り。

- a. 別の敷地内の建築物を物理的に繋げることで用途に相乗効果を期待する。
- b. こどもから高齢者まで関りを持てる空間とし、こどもの

感性や高齢者の智識を相互に得られる。

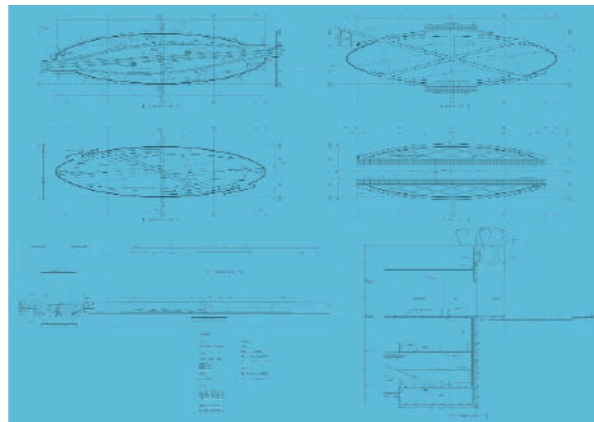
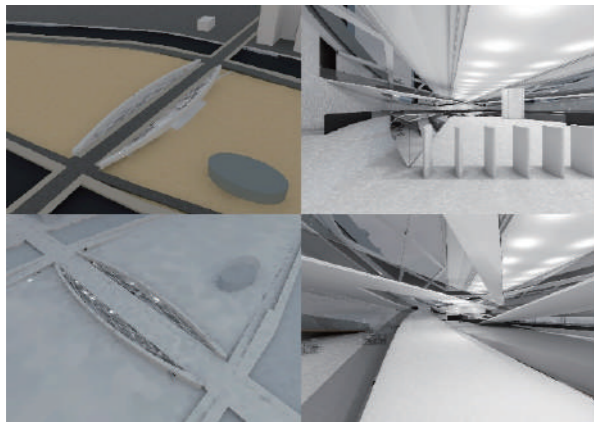
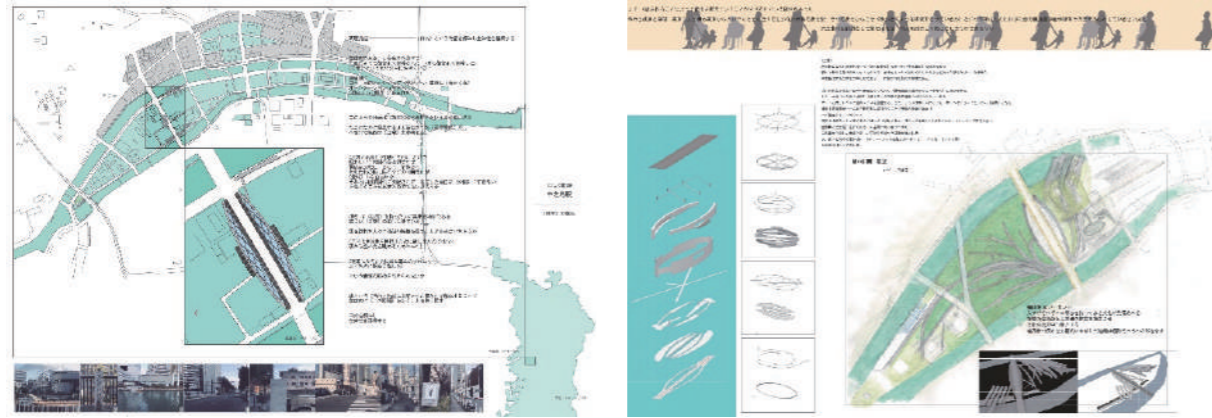
- c. ポップアップレストランなど、年齢に関わらずやりたいことを実践できる場を増やす。
- d. ベニヤ板など一般の人にも操作しやすい材を用いて、住民とワークショップ的に空間を作っていく。
- e. 内部から生活がにじみ出て、ファサードと内部空間との距離を近くする。
- f. 農園や植栽を用いることで、生態系と触れ合える拠点の一つとする。



人々にとって一番の学びとは気づきではないか。利便性や効率化を一方向的に押し付け自然環境を排除するような一方向的な環境において本当の学びは存在するのだろうか。学びの場として作られた建築はもはや学びの為の気づきを減退させる空間になってはいないか。この計画では予め準備された一方向的な教育による学びではなく、生徒達自らが気づき自然との共生の中で学びを深める環境を提案する。外部環境との密接な関わりを助長するように建物の開口部や緑化テラス、天井スラブのはびやかに外部へと広がり

子供たちは自らが環境や要望の変化に気づきながら状況に応じた適切な形態へと教室を変化させていく。人工的に造成された既存環境を元の自然な地形を復元するように大地と一体的に計画した建物には風・光・熱といった自然エネルギーが万遍なく注ぎ込み、そこにある自然環境の豊かさに気づくための環境装置へと建築を変化させる。西脇小中一貫教育学校は自然環境と建築の一体的計画により自然がもたらす気づきや可能性を学びの場に潜めた建築の提案である。

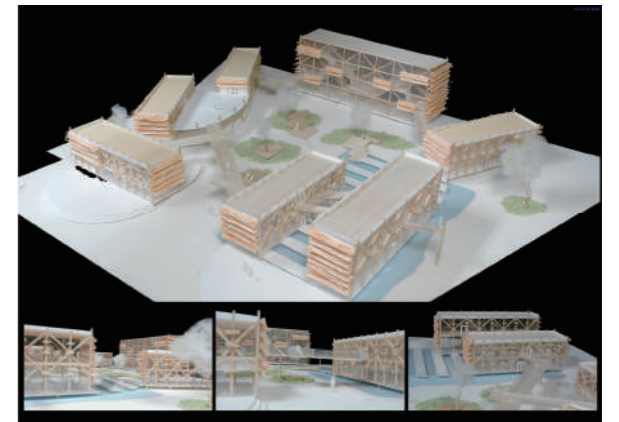
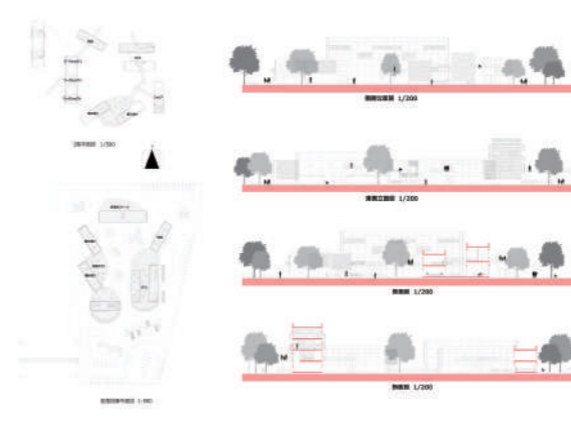
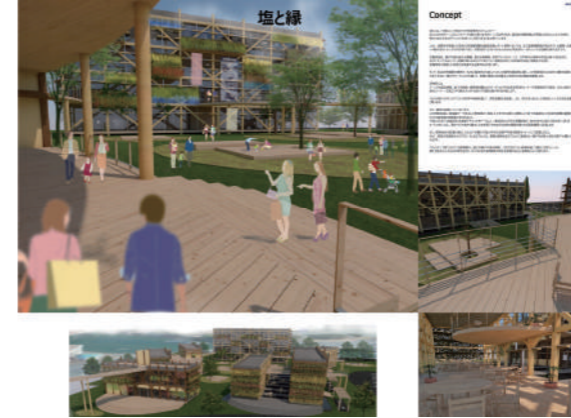
中央工学校 O S A K A 建築学科 建築設計コース
中森 陽介



新路線《なにわ筋線》の地下駅《中之島駅》の計画。中之島は大阪の文化の中心地であり、川に挟まれた都市の聖域である。駅には都市を変えてゆく力がある。都市を全く新しく作りかえる力を持つ駅を作ろう、と考えた。駅は忙しさの象徴、《最短で通り抜けるべきもの》と見なされるが、本来愛すべき風景を作る街路のひとつである。ホームとカフェが同一レベルにあることで、お互いが

お互いにとっての風景となる。日常を全く違った視点で《鑑賞》する体験は、無意識に固定されてきた《日常》を融解する。通過する電車はホームを切り裂き、三日月形の空間が始まる。そこに人、堂島川・土佐堀川と船の動きが絡み合う。重層する移動のイメージが空間を描く。夜、都市を眺める飛行機に、《新しい未来と可能性を持つ都市をここから描く駅》が光を投げかける。

岡山理科大学専門学校 建築学科
塩田 佳輝



児島地域は、瀬戸内海の雄大な景観、豊かな海鮮物、世界ブランドのジーンズ、江戸時代の港町の町並み等々があります。まさに「モノ」ではなく「コト」消費が楽しめるエリアであり「コト」消費を目的とする地域内周遊と消費拡大を図り、地域特性に根差した活性化を促進する必要があると思います。具体的には、ジーンズの藍染体験、塩づくり体験、備前焼体験などのワークショップが出来る多目的コーナーや児島地区の「歴史、文化」を紹介する展示コーナー、児島エリアの観光スポットを紹介する観光案内所を計画します。

また、この児島地域は、製塩業で一代をなした野崎家が、昭和20年代から新たに開発した「流下式塩田法」の全国的展開の基礎を作り、広大な海岸線の原風景と言われました。今回の「流下式塩田法」を建築デザインのモチーフとして、集成材とCLT材で架構を組み、枝の代わりに地元で採れる「い草」をカーテン状につるし、雨水マスや池から揚水した水を落下させながら自然の通風が得られる環境建築へ応用します。また、建物全体の配置計画は、もともと「吉備の穴海」と呼ばれる瀬戸内海の群島をイメージして配置しました。

麻生建築&デザイン専門学校 建築士専攻科 愛知産業大学併修コース
稲富 凧海



近年よく耳にする保育園と近隣とのトラブルのニュース。保育園と地域がうまく打ち解けあえず、保育園は内に内に閉ざして、地域との間に見えない壁を作っている。この壁を取り払うことはできないだろうか。保育園を商店で囲み、まちの中心として人が集まる場所を作る。大人がこどもたちを目にする機会を増やし、保育園とまちの見えない壁を無くす。商店は道路幅拡張工事に伴って閉店や移転を余儀なくされた小さな店舗をこの場所に再集結させる。駄菓子屋・文具屋は小学生で賑わい、八百屋・肉屋・花屋・惣菜屋は買い物する

大人で賑わい、送り迎えの時間には商店を通じてコミュニティも生まれる。他にも子を持つ親向けのシェアオフィス、園児だけでなく地域の人や卒園児など、幅広い世代が利用できる習い事教室を設け、多くの世代が顔を合わせる場所にする。お店のおっちゃん、買い物するおばちゃん、放課後遊びに来る小学生…こどもたちはこの姿や音で外の世界を感じる。ワクワクした夢や憧れを抱く。こどもたちの声や奏でる音、遊ぶ姿がまちの彩となり、まち全体の活気や明るさに繋がる。

「第18回 専門学校卒業作品展示会」のポスターコンテスト審査会報告

■ 審査日

2018年3月22日(木)

■ 審査員

全国専門学校建築教育連絡協議会
作品展示会運営委員会(会員校 教員)

■ 会場校

専門学校東京テクニカルカレッジ

■ 応募作品数

133作品

■ 応募校

8校

筑波研究学園専門学校	中央工学校
青山製図専門学校	読売理工医療福祉専門学校
専門学校東京テクニカルカレッジ	日本工学院専門学校
日本工学院八王子専門学校	修成建設専門学校

■ 審査結果

最優秀賞	藤原 唯(中央工学校)
優秀賞	窪田 伊吹(日本工学院専門学校)
佳作	金沢 笑美(日本工学院専門学校)
佳作	西田 賢人(日本工学院八王子専門学校)
佳作	岡添 安莉(日本工学院八王子専門学校)



2018年度(平成30年度) 総会、教育活動報告会 開催報告

■ 日時

2018年6月16日(土) 13:00~17:30

■ 内容

1. 総会
[前年度の事業報告、決算報告、今年度の事業計画(案)、予算(案)他]
2. 教育活動報告会
[発表校:中央工学校OSAKA、京都建築大学校]
3. 会場校施設見学
4. 情報交換・懇親会

■ 会場校

京都建築大学校



学校名	所在地
日本工学院北海道専門学校	〒059-8601 北海道登別市札内町184-3
秋田建築デザイン専門学校	〒010-0065 秋田県秋田市茨島1-4-71
国際情報工科自動車大学校	〒963-8811 福島県郡山市方八町2-4-15
筑波研究学園専門学校	〒300-0811 茨城県土浦市上高津1601
中央工学校	〒114-8543 東京都北区王子本町1-26-17
青山製図専門学校	〒150-0032 東京都渋谷区鶯谷町7-9
読売理工医療福祉専門学校	〒108-0014 東京都港区芝5-26-16
専門学校東京テクニカルカレッジ	〒164-8787 東京都中野区東中野4-2-3
日本工学院専門学校	〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22
日本工学院八王子専門学校	〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1
東京工学院専門学校	〒184-8543 東京都小金井市前原町5-1-29
町田・デザイン専門学校	〒194-0022 東京都町田市森野 1-27-18
浅野工学専門学校	〒221-0012 神奈川県横浜市神奈川区区安台1-3-1
新潟工科専門学校	〒950-0932 新潟県新潟市中央区長潟2-1-4
日本建築専門学校	〒418-0103 静岡県富士宮市上井出2730-5
東海工業専門学校金山校	〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山2-7-19
京都建築大学校	〒622-0041 京都府南丹市園部町二本松1-17
大阪工業技術専門学校	〒530-0043 大阪府大阪市北区天満1-8-24
大阪建設専門学校	〒530-0052 大阪府大阪市北区南扇町3
修成建設専門学校	〒555-0032 大阪府大阪市西淀川区大和田5-19-30
中央工学校OSAKA	〒561-0872 大阪府豊中市寺内1-1-43
岡山科学技術専門学校	〒700-0032 岡山県岡山市北区昭和町8-10
岡山理科大学専門学校	〒700-0003 岡山県岡山市北区半田町8-3
広島工業大学専門学校	〒733-8533 広島県広島市西区福島町2-1-1
麻生建築&デザイン専門学校	〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南1-11-13
福岡建設専門学校	〒811-0053 福岡市東区箱崎6-15-34
専修学校サイ・テク・カレッジ	〒904-0115 沖縄県北谷町美浜1-5-16

企業・団体名	所在地
エーアンドエー(株)	〒101-0062 千代田区神田駿河台2-3-15
(株)sai 総合企画	〒101-0062 千代田区神田駿河台1-7-7 白揚第二ビル3階
菊池建設(株)	〒188-0001 西東京市谷戸町3-17-6
技研施工(株)	〒107-0062 港区南青山7-3-1
(株)熊谷組	〒162-8557 新宿区津久戸町2-1
(株)久米設計	〒135-8567 江東区潮見2-1-22
グラフィソフトジャパン(株)	〒107-0052 港区赤坂3-2-12 赤坂ノアビル4階
(株)クリーク・アンド・リバー社	〒102-0083 千代田区麴町2-10-9 C&Rグループビル
清水建設(株)	〒104-8370 中央区京橋二丁目16-1
(公社)商業施設技術団体連合会	〒108-0014 港区芝5-26-20 建築会館4階
(株)スタジオNAO	〒160-0011 新宿区若葉区2-9-8 四谷F&Tビル202
住友不動産(株)	〒163-0819 新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル
成友興業(株)	〒197-0802 あきる野市草花1141-1
積水ハウス(株)	〒531-0076 大阪市北区大淀中1-1-88 梅田スカイビル タワーイースト
(一社)全国建築CAD連盟	〒461-0008 名古屋市東区武平町5-1 名古屋栄ビルディング7階
(株)総合資格	〒163-0557 新宿区西新宿1-26-2 新宿野村ビル3階
大東建託(株)	〒108-8211 港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー24階
大豊建設(株)	〒104-8289 中央区新川1-24-4
高砂熱学工業(株)	〒160-0022 新宿区新宿6-27-30
(株)竹中工務店	〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-13
(株)丹青TDC	〒108-0023 港区芝浦4-16-23 AQUACITY芝浦2階
TTC(株)	〒132-0035 江戸川区平井2-16-23 2階
徳倉建設(株)	〒108-0074 港区高輪3-19-23
中野建設(株)	〒105-0014 港区芝3-42-9 中野第一ビル
西尾レントオール(株)	〒542-0083 大阪市中央区東心斎橋1-11-17
(株)ニチボウ	〒141-0022 品川区東五反田1-9-5
(公社)日本建築積算協会	〒105-0014 港区芝3-16-12 サンライズ三田ビル3階
(株)三輪設計	〒460-0008 名古屋市中区栄2-1-1 日土地名古屋ビル15階
武藤工業(株)	〒154-8560 世田谷区池尻3-1-3
明治商工(株)	〒143-0006 大田区平和島6-1-1 東京流通センター センタービル3階
(株)ヤマダ・エスバイエルホーム	〒370-0841 高崎市栄町1-1
(株)山田建築事務所	〒501-3156 岐阜市岩田西1-96
リコージャパン(株)	〒104-0045 中央区日本橋小網町19-5 akebono日本橋ビル

協 賛

A&A

sai 株式会社 sai 総合企画
一般建築士事務所

KKUCHI 豊かな空間を創る技術と信頼の「パートナー」
菊池建設株式会社

技研施工株式会社

KAWAGUCHI 熊谷組

KUME
SEKKEI

GRAPHISOFT
A NEMETSCHEK COMPANY

株式会社クリーク・アンド・リバー社

清水建設

公益社団法人 商業施設技術団体連合会

studio NAO
BIM solution & Visualization

一信用と創造—
住友不動産

SEIYU

SEKISUI HOUSE

AAAL 一般社団法人
全国建築CAD連盟

総合資格学院

大東建託

大豊建設株式会社

高砂熱学工業
Takasago Thermal Engineering Co., Ltd.

TAKENAKA

Tansei TDC

TTC

TOKURA 徳倉建設株式会社

中野建設株式会社
Nakano kensetu Inc.

総合レンタル業のバイオニア
西尾レントオール株式会社

もうひとつの積算10倍
株式会社 二子ボウ

コストがわかれば 建築が見える！
BSJ 公益社団法人日本建築積算協会
The Building Surveyor's Institute of Japan (BSIJ)

三輪設計
MIWA SEKKEI Co., Ltd.

MUTOH
武藤工業株式会社

明治商工株式会社

SXL
ヤマダ・エスバイエル ホーム

株式会社 山田建築事務所

RICOH

発行日 2018年7月31日
発行元 全国専門学校建築教育連絡協議会
<http://zensenkenkyo.jp/>
事務局 日本工学院八王子専門学校
〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1
TEL:042-637-3111(代) FAX:042-637-3112